

【様式5】

令和 年 月 日

誓約書兼承諾書

(宛先)  
大津市長

所 在 地 \_\_\_\_\_

法 人 名 \_\_\_\_\_

(ふりがな)

代 表 者 名 \_\_\_\_\_

印

〔代表者の生年月日〕

生 年 月 日 \_\_\_\_\_ 年 月 日 \_\_\_\_\_

私は、「大津市認知症カフェ事業実施業務」のプロポーザルに係る企画提案の参加申込に当たり、公募型プロポーザル実施要領に規定する参加資格を満たしており、提出書類の内容について、事実に相違ないことを誓約します。

また、下記の項目の要件に該当しないことを誓約するとともに、下記に該当するか否かに關し、大津市が滋賀県警察本部に必要な照会をすることについて承諾します。なお、申請後において、該当していることが判明したとき、又は該当する事態になったときは、速やかに貴職宛申し出るとともに、本市が行う措置について、何ら異議のないことを誓約します。

記

- 1 自己又は自社若しくは自社の役員等が、次のいずれにも該当する者ではありません。
  - (1) 役員等（個人である場合にはその者その他経営に実質的に関与している者を、法人である場合にはその役員、その支店又は常時契約を締結する事務所の代表者その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。）第2条第2号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）又は暴力団員（同条第6号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）であると認められるとき。
  - (2) 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正な利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしていると認められるとき。
  - (3) 役員等が、暴力団若しくは暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど、直接的又は積極的に、暴力団の維持若しくは運営に協力し、又は関与していると認められるとき。
  - (4) 役員等が暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不當に利用するなどしていると認められるとき。
  - (5) 役員等が暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められるとき。
  - (6) 営業活動に係る必要な契約の締結に当たり、その相手方がアからオまでのいずれかに該当することを知りながら、当該相手方と契約を締結したと認められるとき。